

発達支援相談の充実

アナ： 「市長が語る 2023 三島」第9回の今日は、「発達支援相談の充実」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 「発達」と言いますと、お子さんの健やかな成長を願う親御さんにとって、大変気になることだと思いますが、三島市には子どもの発達を支援する部署が設けられているそうですね。

市長： はい。三島市では、平成30年度に「発達支援課」を立ち上げまして、現在は、錦田こども園内に設置している発達支援センター「たんぽぽ」で幼児期から小・中学生までの学齢期の子どもを対象に相談支援を行っています。

アナ： 「たんぽぽ」では、具体的にどのようなことをされていらっしゃるのですか。

市長： 発達支援センター「たんぽぽ」には、相談員のほか、臨床心理士や保健師、作業療法士、保育士や、教育委員会からの学校指導主事等を配置しております。

これらの専門職の職員が、面談や幼稚園・保育園、学校への訪問、また、必要に応じて発達検査などを行いまして、その子どもの状態を把握した上で、親御さんや通っている幼稚園・保育園の保育士、あるいは学校の先生に、その子との接し方についてのアドバイスを行っています。

また、ペアレントトレーニングや保護者向けの講座を開催し、お子さんとのかかわり方について助言を行うなど、様々な角度から、ご家族やお子さん本人の困りごとの解消や負担の軽減に向けた支援を行っています。

アナ： なるほど。「たんぽぽ」は、お子さんとそれをサポートする人とを円滑につなげる役割を担っているということですね。

今年度、何か新しい取り組みをされますでしょうか。

市長： はい。

今年度からは、さらに言語聴覚士を配置して、幼児期に比較的多いとされる発音が不明瞭な場合や活舌が不十分な場合などに、その改善指導を行う言語相談を開始し、相談支援の充実を図ってまいります。

アナ： ますます支援の体制が充実するということですね。

ところで、「たんぽぽ」は今後どのような展開を目指していらっしゃるのでしょうか。

市長： 発達支援センター「たんぽぽ」は、今のところ中学生までを対象としています。今後、保健・福祉・教育・就労の各分野の機関や組織と横の連携を更に深めていくことで、「乳幼児期」、「学齢期」、「思春期」、「成人期」といったそれぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援を専門的かつ総合的に行う中核的な支援機関を目指してまいりたいと考えております。

そのためには、現在、「たんぽぽ」で相談支援を受けている幼児・生徒たちが成長し、「思春期」「成人期」を迎えた時にも継続した支援を提供できるよう、精神保健福祉士といった専門職の配置や関係機関との更なる連携を進め、人的、組織的な充実を図る必要があると思っております。

アナ： 大人になっても同じ場所で相談を聞いてもらえるようになるのが心強いですね。ところで、錦田こども園内に設置している児童発達支援事業所「にこパル」では、今年度何か新しい取り組みをされるご予定でしょうか。

市長： はい。今年度は、5月から「にこパル」におきまして、日中一時支援事業による預かりを開始いたします。

現在「にこパル」の降園時刻は午後2時となっておりますが、日中一時支援事業をご利用いただくことにより、午後5時までお子さんをお預かりいたします。

この事業を活用していただくことで、親御さんの活動の幅が広がり、時間的なゆとりが生まれ、それがお子さんとの良い関係づくりにつながってくれればと思っております。

アナ： 「にこパル」でも支援の充実が進められており、子育てをする親御さんを応援する環境が整っていく様子を伺うことができました。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。